

平成15年度

事務事業評価票

提出年月日	H15.6.30
	60

事務事業名	公金収納業務(OCR処理)	1/2
-------	---------------	-----

1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 9 年度 ~ 平成 年度	担当部課	財政部 会計課	課コード	121000	
			担当係長	島村	電話	1241	
	位置付け	第 0 編	計画の推進に向けて	大分類	1	事務事業	
		第 3 章	簡素で効率的な行財政運営	中分類	1	簡素効率化の推進と適正な事務執行	
		第 1 節	行政の簡素効率化	小分類	3	コストを重視した事務事業の見直し	
	事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)		
		市内部で処理していた収納金消し込み業務。			OCR処理を委託化し、事務の簡素化・効率化を図る。		
	事業内容・計画	市税等の公金を収納した場合、そのデータを消し込みする作業が必要となるが、データを入力する作業は人手と時間を要し、大きなコストがかかる。納入済通知をイメージスキャナで読み取ることで、ダイレクトにデータを入力し、効率化を図るのがOCRシステムで、この業務を委託化することで、即時のデータ化が出来るほか、人件費や入力機器のコストを削減できる。 財務会計システムの稼働に伴ない、行政改革の見直しの中で、事務処理の改善として、平成9年に職員数を削減(正規1名、嘱託1名)し、公金収納に係る事務処理の簡素化としてOCR処理の委託化を行った。委託先は、公金収納のため迅速な処理と、保守事務を図るため、指定金融機関と契約することとした。					
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		
事務事業指標	指標名称	単位	指標式等			H17年度目標値	
活動指標1	納入済通知書件数	件	年間の市税等納入済通知書の処理件数				
活動指標2	委託料(単価)	円	1件当たりの委託料単価(税込み)			7.35	
成果指標1	OCR委託処理率	%	年間納入通知書数 / 年間OCR処理件数 × 100			100	
成果指標2							

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績				今年度見込み	中間目標値	建設・設備 減価償却費		
			H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H17年度			
	事業費	千円	3,985	3,884	4,199	4,175	4,175	-		投資年	
	内訳	国・県補助金	千円							-	年
		市(一般)	千円	3,985	3,884	4,199	4,175	4,175		-	耐用年数
		市(起債)	千円							-	年
		その他()	千円							-	建設・設備投資額
		その他()	千円							-	千円
	減価償却費	千円						-		年減価償却費	
	人件費	千円	-	-	-	-	-	-		千円/年	
	職員数	正規職員	人							-	松本市の登録人口
		嘱託職員	人							-	11.5.1 207,268 人
		臨時職員	人							-	12.5.1 208,056
		合計	人	-	-	-	-	-		-	13.5.1 209,077
	総事業費	千円	3,985	3,884	4,199	4,175	4,175	-		14.5.1 209,517	
	対象者数	人								15.5.1 209,018	
	利用者数	人								人件費(単位:千円)	
		単位当たりコスト	円							-	区分 正規 嘱託 臨時
	市民1人当たりのコスト	円	19	19	20	20	20	-		H11 8420 2880 1800	
	活動指標1	件	542,193	528,392	571,310	567,984	567,984	-		H12 8450 2780 1780	
活動指標2	円	7.35	7.35	7.35	7.35	7.35	7.35	H13 8500 2810 1790			
成果指標1	%	100	100	100	100	100	100	H14 8570 2790 1770			
成果指標2							-	H15 8550 2770 1750			
備考											

